

# しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171

ホームページ [http://www.town.shisui.chiba.jp/static/chunk0001/http\\_model/contents/gikai/index.htm](http://www.town.shisui.chiba.jp/static/chunk0001/http_model/contents/gikai/index.htm)



## アウトレットリニューアルオープン

3月定例会  
5月臨時会 のあらし



多くの人々が来場しました

3月定例会は3月3日から9日間の会期で開催されました。  
町長より議案30件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり可決・同意されました。  
一般質問は11名の議員が、2日間にわたり行いました。  
また、臨時会が5月8日に招集され、それぞれ提出された議案は原案のとおり承認・同意されました。



3月定例会  
5月臨時会

新たな議会の構成が決定・・・・・・・・・・P2~P3

新年度に向けて小坂町長が施政方針・・P5~P6

町政を問う 議員11名が一般質問・・P12~P18

## 新しい議会の構成が決まりました

## 地方創生を推進

議長

内海 和雄



町民の皆様には、日頃から町議会にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

この度、議員各位のご推挙によりまして第35代酒々井町議会議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であり衷心から感謝申し上げますとともに議長としての責任の重さを実感し、心を新たに身を引き締めております。

今後、町と議会が協力し、総力を挙げて地方創生を推進し、住みやすい酒々井町を目指し、町発展のために誠心誠意職務にまい進する覚悟でございます。皆様方のお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

## 町政発展のために努力

副議長

江澤 眞一



この度、議員各位のご推挙によりまして酒々井町議会副議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄と存じております。衷心から感謝申し上げますとともに、この重責を痛感いたしている次第でございます。

今後、副議長の職務を遂行し、議長を支えることはもとより町政発展のために町と協力し誠心誠意努力いたしたいと存じております。

皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任のあいさつとさせていただきます。

## 議会運営委員会

- ◎ 平澤 昭敏
- 酒瀬川 健一
- 高崎 長雄
- 越川 廣司
- 佐藤 修二
- 須藤 伸次

◎は委員長 ○は副委員長

## 議会選出の一部事務組合等議会議員

組合名	議員
印旛衛生施設管理組合	酒瀬川 健一
佐倉市八街市酒々井町消防組合	小早稲 賢一・越川 廣司
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	高崎 長雄
佐倉市、酒々井町清掃組合	佐藤 修二・須藤 伸次

広域連合名	議員
千葉県後期高齢者医療広域連合	内海 和雄

## 総務常任委員会

議会事務局、総務課、企画財政課、会計課、選挙管理委員会、監査委員に関する事務、他の常任委員会に属さない事務



◎佐藤 修二  
無所属 3期



○那須 光男  
無所属 2期



平澤 昭敏  
公明党 4期



江澤 眞一  
無所属 4期



内海 和雄  
無所属 3期



御園生 浩士  
無所属 3期

## 教育民生常任委員会

住民協働課、税務住民課、健康福祉課、教育委員会、固定資産評価審査委員会に関する事務



◎高崎 長雄  
無所属 8期



○濱口 信昭  
無所属 1期



地福 美枝子  
日本共産党 7期



越川 廣司  
無所属 4期



齊藤 博  
無所属 3期

## 経済建設常任委員会

経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会に関する事務



◎酒瀬川 健一  
無所属 2期



○須藤 伸次  
無所属 1期



小早稲 賢一  
自由民主党 6期



竹尾 忠雄  
日本共産党 6期



川島 邦彦  
無所属 3期

◎は委員長 ○は副委員長

町民満足度の高い行政サービスに努めます

# 一般会計59億9100万円

前年度比2・2%増



子育てしやすいまちづくりを推進します(写真は中央保育園)

## 一般会計

予算の総額を59億9,100万5千円にするもので、前年度と比較して2・2%の増となっています。

### 歳入

町税のうち個人町民税は景気の緩やかな回復基調を受け微増となり、法人町民税や固定資産税などは南部開発による企業進出により大きく増加する見込みですが、地方交付税は減収となる状況です。

- 町税 (5・8%増) 26億5,834万1千円
  - 地方交付税 (10・0%減) 8億8,970万円
  - 国庫支出金 (8・2%増) 5億7,763万9千円
  - 県支出金 (7・2%増) 3億6,644万6千円
  - 町債 (0・1%増) 4億8,980万円
- 歳出**
- 主な事業と予算額は次のとおりです。
- 子ども医療費助成事業 6,277万6千円
  - 子ども・子育て支援拠点事業 1,041万2千円

○老人福祉事業 2,015万1千円

○学校教育支援促進事業 213万5千円

○公民館管理事業 9,058万8千円

○防災行政無線管理整備事業 1,153万円

○道路維持事業 7,208万5千円

○コミュニケーションセンター事業 778万7千円

○まちづくり研究所事業 227万6千円

○庁舎管理事業 2億9,184万9千円

企業会計の主な事業は次のとおりです

### 水道事業会計

- ◇水道事業会計
  - 東酒々井地先配水管布設替工事(2工区)
  - 墨地区配水管布設工事(2工区)

○高圧引込ケーブル敷設替工事

○取水電気設備更新工事

○ろ過ポンプ交換工事(2号)

### 下水道事業会計

- ◇下水道事業会計
  - 馬橋地区及び飯積地区下水道整備

○下水道施設長寿命化計画策定業務及び下水道台帳整備

### 下水道事業会計

○下水道施設長寿命化計画策定業務及び下水道台帳整備

平成27年度 当初予算額一覧表 (単位:千円,%)

会計名	27年度	26年度	増減率
一般会計	5,991,005	5,863,305	2.2
特別会計			
国民健康保険	2,924,531	2,570,784	13.8
介護保険	1,133,359	1,073,875	5.5
後期高齢者医療	187,776	173,392	8.3

(単位:千円)

水道事業会計	
収益的収入	565,088
収益的支出	551,736
資本的収入	5,509
資本的支出	468,101

(単位:千円)

下水道事業会計	
収益的収入	360,430
収益的支出	455,031
資本的収入	60,704
資本的支出	156,060

# 平成27年度施政方針

## 小回りの利く 高品質なまちづくりを目指して

平成27年度の町政運営の指針となる施政方針が小坂町長から示され、国や県の経済情勢や国の施策等の概要説明に続いて、新年度のまちづくりの目標や主要施策について説明がありました。



小坂町長

### まちづくりの目標

当町は、酒々井インターチェンジの開設やプレミアム・アウトレットの開業により、町の知名度が向上する一方、町としてのクオリティー、町民生活の質を高める施策を展開することで、町としてのブランド力を高めてきました。

今後、少子高齢化・人口減少問題によって、地域社会存続の可能性すら脅かす時代を迎えますが、将来に備えつつ、末永く活気と魅力あふれる高品質なコンパクトシティづくりを進めていきます。

### 平成27年度の主要施策

#### 【健康福祉施策】

① 保育園の開園時間延長 保育料の値下げ



- ② 子ども・子育て支援拠点を2か所設置
- ③ 子ども医療費助成（中学卒業まで自己負担200円）
- ④ 児童手当の支給
- ⑤ ひとり親福祉推進事業（医療費の自己負担の一部助成）
- ⑥ 放課後子ども教室の実施、放課後児童クラブで小学校6年生までの受け入れに対応
- ⑦ ふれ愛タクシーの運行
- ⑧ 障害者の生活を支援する自立支援給付や地域生活支援事業など各種保健福祉サービスの推進
- ⑨ 災害時要援護者名簿登録制度の推進
- ⑩ シルバー人材センターの機能充実に向けた支援
- ⑪ 地域の環境を活力ある高齢者（創年の方々）と町が協働して改善する事業を試行

- ⑫ 隣保館と社会福祉協議会を会場に週3回「生きがいデイサービス事業」を実施
- ⑬ 老人福祉大会や80歳の青年式を開催
- ⑭ 地域包括支援センターの運営支援、介護支援ボランティア制度の実施
- ⑮ 認知症施策の推進
- ⑯ 特定年齢の方に乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス、骨粗しょう症予防検診を無料実施 40歳以上の方に歯科の無料検診を実施
- ⑰ 乳幼児、学童、生徒、65歳以上の方等に予防接種を行い個人の健康管理を支援



「なかよしはみがき教室」の様子

- ⑱ 妊婦健診、乳児健診、マタニティ・ママパクラス、心理発達相談等による子育て支援、「なかよしはみがき教室」による保育園児等への歯科保健指導、「ことばの教室」による就学前の個別指導を実施 4か月乳児相談時に絵本を配付

#### 【教育文化】

- ① 私立幼稚園に町独自の補助金を交付、保護者には私立幼稚園就園奨励補助金を交付
- ② 学校教育関連事業
- ③ 図書館機能の充実
- ④ 小・中学校スクールサポート事業、教職員の特色ある教育活動支援事業
- ⑤ 人権・同和教育研究活動補助事業
- ⑥ 小学校5・6年生の理科授業に理科専属の支援職員を配置
- ⑦ 外国語指導助手を活用し、保育園から中学校卒業までの一貫した英語教育の実施 中学生の海外派遣の実施
- ⑧ 適応指導教室「ふれあいルーム」で不登校児童・生徒の学校復帰を支援



小学校5・6年を対象とした北海道陸別町との児童交流事業

- ③ 本佐倉城跡の入口広場整備
- ④ 旧酒々井宿を「町の顔」として保存整備 歴史文化基本構想を策定
- ⑤ 墨古沢南I遺跡の国史跡指定を目指し、保存整備に着手
- ⑥ 順天堂大学との連携による各種スポーツ教室の開催
- ⑦ 新成人の集いや60歳を迎える方々の地域デビューを支援す
- ⑧ 地域のボランティアによる学校教育支援促進事業を実施
- ⑨ 土曜日の教育活動充実のため、児童を対象に補習と講座を開催
- ⑩ 北海道陸別町と児童の交流を引き続き実施
- ⑪ 中央公民館主催の「酒々井町青樹堂」で、各種講座やイベントを提供
- ⑫ 中央公民館の耐震補強工事を実施（11月中旬から貸館業務を中止）

- ① 防災訓練、防災資器材の購入支援の実施
- ② 消防団員の処遇改善
- ③ 土砂災害ハザードマップの作成
- ④ 防災行政無線のデジタル化実施設計



幅広い年代に様々な学習機会を提供する「酒々井町青樹堂」

- ① 防災訓練、防災資器材の購入支援の実施
- ② 消防団員の処遇改善
- ③ 土砂災害ハザードマップの作成
- ④ 防災行政無線のデジタル化実施設計
- ⑤ 住宅用太陽光発電システム設置・家庭用燃料電池システム（エネファーム）・定置用リチウムイオン蓄電池システム設置に対する補助
- ⑥ 町景観基本条例に基づく「景観計画」の策定
- ⑦ 木造戸建て住宅の耐震診断・耐震改修工事に対する一部助成
- ⑧ 住宅リフォーム補助事業の実施

- ③ 通学路等の安全確保と道路改良工事の実施 交通安全施設・防犯街灯の整備
- 【産業経済】
- ① （仮称）酒々井町企業立地ガイドの作成 南部地区等への優良企業の立地促進
- ② 商工業振興のため、町商工会へ補助金交付
- ③ 過去の農道や農業用排水路等の整備費用の返済を進め、国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金の一部を基金に積み立て
- ④ J・R・京成酒々井駅の観光案内板を外国語表示型にデザインを一新 酒々井インターチェンジに大型観光案内板の設置用地を確保
- ⑤ ちびっこ天国の管理運営 管理棟の耐震改修を検討
- ⑥ コミュニティプラザ・ハーブガーデンの施設改修や運営方法を検討

- ③ 地域住民主体の都市公園等の環境美化活動への支援 生活環境整備工事に必要な資材等の支給
- ④ 酒々井まちづくり研究所の管理運営 輝く創年コミュニティ・フォーラムの開催
- ⑤ 酒々井町タイププロモーションビデオを活用した町のイメージアップ
- ⑥ 後期基本計画策定のための基礎調査の実施
- ⑦ 2060年までの人口ビジョン・地方版総合戦略の作成
- ⑧ 社会保障・税番号制度で使用する機器整備
- ⑨ 分庁舎の建設



町プロモーションビデオ

## 3月議会では下記の30議案が可決・同意されました

### 議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託常任委員会	本会議の議決結果
1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
2	酒々井町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
3	酒々井町教育長の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
4	酒々井町企業立地促進条例の制定について	経済建設	原案可決 ◎
5	酒々井町行政手続き条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
6	酒々井町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ◎
7	特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ○
8	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 ○
9	酒々井町立保育園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
10	酒々井町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ○
11	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
12	酒々井町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
13	酒々井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
14	酒々井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
15	酒々井町保育園保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	教育民生	原案可決 ◎
16	印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決 ○
17	印旛郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	なし	原案可決 ○
18	平成26年度酒々井町一般会計補正予算（第6号）	※	原案可決 ◎
19	平成26年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	教育民生	原案可決 ◎
20	平成26年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第2号）	教育民生	原案可決 ◎
21	平成26年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	教育民生	原案可決 ◎
22	平成27年度酒々井町一般会計予算	※	原案可決 ○
23	平成27年度酒々井町国民健康保険特別会計予算	教育民生	原案可決 ○
24	平成27年度酒々井町介護保険特別会計予算	教育民生	原案可決 ○
25	平成27年度酒々井町後期高齢者医療特別会計予算	教育民生	原案可決 ○
26	平成27年度酒々井町水道事業会計予算	経済建設	原案可決 ◎
27	平成27年度酒々井町下水道事業会計予算	経済建設	原案可決 ◎
28	教育長の任命につき同意を求めることについて	なし	原案同意 ○
29	平成26年度酒々井町一般会計補正予算（第7号）	なし	原案可決 ◎
30	工事請負契約の締結について	なし	原案可決 ◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。（※）は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

### 平成26年度 補正予算額

（単位：千円）

会計名	補正前	3月補正額	補正後
一般会計	6,272,394	△46,179	6,226,215

特別会計	会計名	補正前	3月補正額	補正後
特別 会 計	国民健康保険	2,583,145	△51,721	2,531,424
	介護保険	1,158,686	36,931	1,195,617
	後期高齢者医療	174,839	2,720	177,559

平成27年3月議会で可決・同意された議案は次のとおりです。

◇地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について

平成27年4月より施行される地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、教育委員会委員長と教育長が一本化され、特別職である教育長が設置されることとなったため、関係する条例に所要の改正を行う整理等に関する条例を制定するものです。

◇酒々井町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、新たな教育長は特別職とな

り、新たな根拠法に基づく条例を制定するものです。

◇酒々井町教育長の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、新たな教育長は常勤の特別職となり勤務時間中の職務専念義務が課されることから、具体的に勤務時間を特定し休日、休暇等を新たに定める必要があるため条例の制定をするものです。

◇酒々井町企業立地促進条例の制定について

酒々井南部地区新産業団地、墨工業団地を対象に、企業の誘致を進めるため条例の制定をするものです。

◇酒々井町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続法の一部改正に伴い、法令に違反する行為の是正を求める行政指導の相手方が行政機関に対し当該行政指導の中止等を求めること、また法令違反の事実がある場合、何人も当該違反についての処分等を行政機関に求めることができるようになることから、町条例の一部

を改正するものです。

◇酒々井町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員法の改正に伴い、人事行政の運営等の状況報告及び公表をしなければならぬ事項として、職員の休業状況を追加するものです。

◇特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成18年4月より厳しい財政状況から報酬額5%相当の削減を行ってきましたが、元の報酬額に戻すことや消防団員の処遇改善の一環として報酬額を増額するほか、委員会の整理等を図るものです。

◇酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の内容に準じ、給料表や地域手当などの改正を行うものです。

◇酒々井町保育園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

児童福祉法の改正に伴い、町

条例の一部を改正し、保育園入園資格や保育料徴収根拠の規定について、子ども・子育て新制度の基準を明確にするものです。



中央保育園での読み聞かせ

◇酒々井町重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本年8月診療分から、償還払い方式から現物給付方式に改め、また、千葉県の補助基準

の改正に伴い、市町村民税所得割課税世帯は本年8月診療分から通院1回、入院1日当たり300円を徴収し、本年8月以降に重度心身障害者になった方で年齢が65歳以上の方を助成対象とするものです。

◇酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成27年度から29年度までの介護保険料について、現行の第

9段階の次に第10段階を追加しようとするものです。また、介護予防・日常生活支援総合事業については、事業の円滑な実施を図るため平成27年4月1日から行わず、町長が定める日の翌日から行おうとするものです。

◇酒々井町指定地域密着型サービスの実施に関する条例の制定について

酒々井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

酒々井町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

厚生労働省令の改正に伴い、条例を改正し、本年4月1日から施行しようとするものです。

◇酒々井町保育園保育の実施に



関する条例を廃止する条例の制定について

児童福祉法の改正により、児童福祉法及び子ども・子育て支援法に定めるところにより保育を実施することと改められたため、町の条例を廃止するものです。

◇印旛都市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

経費老人ホーム「よしきり」を社会福祉法人「清明会」に無償譲渡することに伴い、共同処理する事務のうち「経費老人ホームの設置及び維持管理」を「経費老人ホームA型の運営支援」に改めるものです。



◇印旛都市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について

経費老人ホーム「よしきり」を社会福祉法人「清明会」に無償譲渡し、平成27年度より同法人「清明会」が運営をすることとなるものです。

木村俊幸氏の教育長選任に同意

◇教育長の任命につき同意を求めることについて

新たな教育長として木村俊幸氏を任命したので、改正後の地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めめるものです。



木村俊幸教育長

◇工事請負契約の締結について

酒々井ちびっこ天国流水プール他塗装工事について、2月25日に制限付き一般競争入札を実施した結果、伊藤仁塗装株式会社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めめるものです。

議案・賛成討論(要旨)

越川廣司議員

(議案第22号)

当町において、大変厳しい予算編成であったと思うが、限られた財源の有効かつ効率的な活

用を図りながら、将来に備えつつ、基本構想で示された基本理念に基づいた将来都市像に向けた各種施策に取り組んでいたと思われ高く評価する。

平澤昭敏議員

(議案第22号)

6つの基本目標ごとに取り組みを示し、町独自の施策も多く、子育て支援を手厚くやっている。今後も子育てしやすいまちづくり、若い人が定住し、住んでよかつたと言える町、酒々井のための施策を充実させていきたい。



(議案第29号)

人口減少社会において持続可能な社会を維持していくために必要な交付金であり、地域消費喚起、地域活性化のため必要である。プレミアム商品券の発行は、地域の消費喚起に効果があり、助成額を上回る経済効果がある。

齊藤博議員

(議案第7号)

常日頃いろいろな委員会業務に参加いただいている方に対して支給するものに反対するものではないので、総体としては賛成する。ただし、平成18年度の財政難に対して特別職の給与削減と同時に団体補助金のカットもあり、町長、議員、非常勤特別職の報酬関係は元の額に戻ったが、団体補助金については、個々の査定はしているが一律査定はしていないため、本年度中に各種団体も含めた補助金の見直しを一律にやるよう要望する。

(議案第22号)

昨年の決算審査特別委員会指摘された内容で、紙おむつ支給対象者の拡大や枚数増加等が実現されなかったのは残念だが、自治会への修繕費、消防団への待遇改善等ある程度実現され、その他施策も含め、総体的には賛成する。ただ、ちびっこ天国管理棟修繕については、何年使えるかもわからない管理棟に1億円以上費やしてやることは理解できない。ちびっこ天国本体のこれからの運営についての議論の中から管理棟修繕を考

えるべきである。予算上設計費が組まれるが、本体の存続機関とともに検討し、その上で工事着手に移るよう要望する。

地福美枝子議員

(議案第1号)

今回の改正は、首長任命の新教育長であっても教育委員会出席者の多数で決められるということでは今までと変わらない。教育長の一存で教育委員会を牛耳ることはできない。そのため、条文化などのチェック機能強化、報告のあり方や教育長への委任事務の見直し等もやっていくべきである。今後の課題はあるが、教育委員会制度、機能を残したという点で賛成する。

(議案第9号)

細分化については、保育料が下がる人もいるので保護者の要求が一部実ったことから、その努力に感謝し賛成する。ただ、開園時間の延長については、保護者の立場からは歓迎するが、中央と岩橋の平日の1時間違う点については、今まで利用者が少なかつたとしても、これから選ぶ人、仕事が変わる人もいるので開園時間は統一すべきと思う。

(議案第10号)

現物給付になった点については、何年もかかって要望し、やっとまずは窓口無料化になった。運動している側からすると非常に大きいことである。ただ、ハンデを背負っている人に、課税世帯であっても3000円を取ることについては、無料措置等考えていただきたいことを強く要望し賛成する。

**議案・反対討論(要旨)**

地福美枝子議員

(議案第16号17号)

現在の状況の中で、たとえよくなることを約束されていたとしても、民間なので赤字になれば当初の約束は守れないのが通常だと思うが、赤字事業は切捨てではなく、県に強く要望するとともに、これまで以上に維持する努力をしていただきたいと要望し、反対する。

(議案第28号)

教育委員会は住民自治の一つとしてでき、合議制で教育委員会制度として残ったので、町内在住の人を選ぶべきと考え反対する。

竹尾忠雄議員

(議案第8号)

円安、物価高、消費税増税により暮らしが一層大変な状況のもと職員も同じだと思う。今こそ給与を引き上げ、地域経済を活性化しなければならぬときに、給与を下げることは認められない。

(議案第22号)

決算審査特別委員会で指摘された紙おむつ支給事業の対象者を非課税世帯という支給制限を27年も改正しませんでした。当初は支給制限はなく、財政状況が厳しくなったことから制限を行いました。今特別職員、非常勤者の報酬や費用弁償についても元に戻す条例改正案が提案されている。町長が言う先進福祉千葉県一の温かいまちづくりを目指すという言葉と相反してないだろうか。一方、利水面、治水面でも必要のない八ッ場ダム工事などの予算を計上している。昨年の実施計画に載せられたコミュニティプラザ防災備蓄倉庫整備、中学校グラウンド拡張、岩橋保育園駐車場舗装工事予算の先送り。どの事業も長い間の住民要望事項である。また、

実施計画で議場の会議システム

更新が27年度に計画され、マイク雑音が入り、いつ使えなくなるかわからない状況のもとで、この予算も先送り。一方、議員視察費は予算化。議員視察全てを悪いとは思わないが、温かいまちづくりとは言えないと考え反対する。

齊藤博議員

(議案第10号)

長い間障害者の方からの要望であった医療費現物支給になったことについては大賛成であるが、課税世帯から医療費負担3000円を取ることについて反対する。重度心身障害者は自分で生活するのが困難な方であり、今まで無料だったものを有料にすることの判断をするとき、県の補助金がなくなったから同じようにするものではないと思う。

子ども医療費については、所得制限はあるが2000円であり、同じ町がやる医療費助成の中でバランスがとれていないことに対して、どれだけ合理的な説明ができるだろうか。私には理解できないため反対する。

**「日本で一番古い町」をアピール**

町長より6件の行政報告がありました。(要旨)

**酒々井町町制施行125周年について**

酒々井町は、平成26年4月に町制施行125周年を迎え、群馬県長野原町とともに「全国で一番古い歴史ある町」となりました。125周年にあたり、町の通年事業を記念事業として実施し、町外の各種イベントにも積極的に参加し「日本で一番古い町」をアピールしました。また、今年2月には町勢の振興発展にご貢献いただいた皆様への感謝状贈呈式を行いました。



感謝状贈呈式



町のプロモーションビデオに出演したふるさと大使の仲村瑠璃亜さん



「記念リーフレット」と「プロモーションビデオ」

さらには官民協働による「町勢要覧・くらしの便利帳」を作成し、住民生活の利便性向上を図るほか「記念リーフレット」や町を紹介する「プロモーションビデオ」の制作により広く情報発信しました。今後も少子高齢化社会に対応した「100年安心して住める」高品質なまちづくりを推進し、交流人口や定住人口の増加に努めます。

**80歳の青年式および酒々井町盛年式について**

昨年11月18日に中央公民館で80歳の方146人をご招待し、80歳の青年式を開催しました。式典では、80歳以上で平成25年中に介護保険を使わなかった30人に顕彰状と記念品の贈呈、健康の秘訣の発表、順天堂大学の学生によるリズム体操を行いました。80歳以上の方45人、顕彰状贈呈の方4人に出席していただきました。



80歳の青年式（リズム体操）

平成27年2月15日に60歳を迎えた方の人生の節目を祝福する盛年式を231名対象のうち72名の参加により開催しました。式では、酒々井中学校吹奏楽部による演奏、学校支援コーデイネーター（大室亭絶好調）

の山岸文雄氏による「プラスアルファは優しく、楽しく、自分らしく」と題した記念講演と落ちづくり団体と公民館事業の青樹堂の紹介がありました。

**ファシリティマネジメント及び分庁舎の進捗状況等について**

ファシリティマネジメントの取り組み状況につきましては、椅子に座って申請等ができる窓口カウンター改修、省エネルギーと節水を図るため、中央庁舎トイレ改修工事や空調設備機器更新工事を実施しました。また、「施設管理者のための点検マニュアル」試行版を作成し、日常点検は職員で対応できるよう取り組んでいます。そして、施設、道路及び橋梁に関する将来の維持管理費等の概算推計をし、公共施設等総合管理計画の策定作業を進めています。

分庁舎工事の進捗状況については、躯体工事は本年3月中旬に2階まで立ち上がり、コンクリートが打ち終わる予定で順調に進んでいます。分庁舎は、災害対応の中核拠点として、1階に防災無線室を備え、常時防災啓発が可能な会議室を整備して



いきます。配置する課については、災害発生対応に密接に連携できるようにしたいと考えています。2階は、平時は会議室等として使用し、災害発生時には災害対策本部や報道対応室等とし、また、状況に応じて被災住民相談対応や議会の開催も可能なスペースを確保します。災害対応機能では、太陽光発電設備等の整備により電源多重化を図り、停電した場合でも災害対策業務を継続できるようにします。また、高齢者や障害者に配慮し、エレベーター、スロープ及び多機能トイレを整備し、人感センサーや調光機能付きLEDを設置、節水型トイレ、省エネ型エアコン、屋上は断熱性能の高い防水仕様とし、人と環境にやさしい施設づくりに取り組んでいます。

**平成27年度子ども・子育て事業関係について**

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、保育園利用可能時間が11時間になり、平日及び土曜日は終了が岩橋・中央保育園で午後6時まで、また、延長保育は岩橋保育園で平日最大午後8時まで、中央保育園で最大午後7時までになります。保育料については、全体的に引き下げ、新制度に移行する対象の幼稚園の負担金も保護者の所得に応じて設定しました。さらに、一時預かり利用日数を増やし、あいあいルームで子育て相談や情報提供などを行うため専属スタッフを週3日配置し、より細かな対応ができるようになります。放課後健全育成事業では、小学校に就学している児童の受け入れに対応していきます。引き続き、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を保健師・助産師・健康推進員が訪問を行い、子育て支援に関する情報提供や養育環境等を把握する乳児家庭全戸訪問を行い、必要に応じて養育支援訪問を行います。

**小中学校太陽光発電設備の運用状況について**

平成26年度からの太陽光発電の電気供給により小中学校の合計で約20%東京電力からの受電量を下げ、電気代の経費節減、災害時の緊急用電源の確保や環境負荷の低減に寄与しています。今後も環境教育としての活用、節電意識向上に努めます。

**優良公民館表彰について**

酒々井町中央公民館は、全国の公民館等の中でカレッジコース及び青樹堂活動が特色ある事業として地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められ、平成27年3月4日文科科学大臣より優良公民館表彰を受賞しました。これからも生涯学習推進の為「まなび・つどい・むすぶ」をテーマに公民館事業の充実を図ります。



優良公民館表彰を受賞

町の考え

# そこが知りたい

一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

3月定例会の一般質問は、10日と11日の2日間に11名の議員が空き家対策や道路整備など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

3月定例会の会議録は、6月上旬以降、閲覧することができます。



井戸っこ（しすいちちゃん）  
酒々井町マスコットキャラクター

問

「国際交流の推進」について町はどのように考えているか

答

オリンピック開催を機に進めていきたい

**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催予定だが、酒々井町では、競技前の各国選手団の誘致でなく、競技終了後の選手団と児童生徒との国際交流や地域交流について推進すべきと考えるが、町の考えを伺う。

**教育長** 成田空港を起点として、世界各国から選手団が各地を訪れることから、選手団との交流や地域の交流などの取り組みを進めていきたい。

**少子高齢化対策について**

**問** 中央台、東酒々井地区を中心に高齢化が進み空き家が目立ち始めているが、一人暮らし高齢者の対策や空き家への新住民の居居対策等、高齢化が進む時代の中での人口増加対策の推進について町はどのように考えているのか。

**町長** これまで町が取り組んできた若い世代が居居しやすい環境整備のほか、町のブランド力を高める魅力づくりなど、酒々井に住んでみたいと思えるまちづくりをより一層推進することで、交流人口と定住人口の増加に結びつけられるものと考えている。

問

教育環境の整備について

**問** 一昨年の大雨により大室台小学校に隣接する傾斜地が崩壊したが、土地所有者と話し合いによる解決が困難であると判断され昨年9月定例会に提案された土砂の撤去等を求める訴えの提起について、その後の状況はどのようになっているのか。また、児童への安全対策や二次災害防止の為の対策はどのようにされているのか町の考えを伺う。

**副町長** 崩落した土砂については、現状のままであればこれ以上の土砂流入は避けられる見通しであり、設置したフェンスの外で遊ばないよう安全指導を徹底することで、二次災害の防止は図られるものと考えている。訴えの提起については、相手方の不動産に抵当権が設定されているなど、顧問弁護士の見解を踏まえて当面訴えの提起は見送り、状況の変化を見守ることとした。



土砂が崩落した現場



金塚 学議員

**問** プレミアム付き商品券は発行するのか

**答** 6月下旬から実施予定でプレミアム率は3割を考えている



平澤 昭敏議員

**問** 補正予算で組まれた交付金を活用するプレミアム付き商品券の発行をするのか伺う。また、利用できる店を拡大できるのか併せて伺う。

**経済環境課長** 6月下旬から実施する予定であり、プレミアム率は3割を考えている。町内における購買活動の拡大及び地域経済の振興と商業の活性化を図る観点から、町商工会に委託し、商品券の取扱店等は町内の商店等から公募することとし、広く利用できるように考えている。



緊急経済対策として実施されるプレミアム付き商品券

**人口減少社会へ向けての子育て支援について**

**問** 国の子育て支援策を待つのではなく、町独自の子育て支援策を伺う。

**子ども課長** 4月から「子ども・子育て

支援新制度」がスタートする。町としては、先ずはその制度に伴う保育時間の延長や放課後児童クラブの事業拡充、また新規事業として地域子育て支援拠点事業を行っていく。町独自の制度については、今後子ども・子育て政策会議等で検討していく。

**AEDの普及設置について**

**問** あらかじめ設置しておいたAEDには効果があり、夜間に利用する人のためにもコンビニに設置するべきと考えるが、町の考えを伺う。

**健康福祉課長** 国が定めた「AEDの適正配置に関するガイドライン」にあるように、いざというときAEDが機能し、救命率の改善を図るためには、効果的・効率的に配置することが必要と考えている。AEDをコンビニに設置することについては、維持管理体制などの課題があるため、救命措置の充実を図るうえでの検討課題と考えている。



役場本庁舎に設置されているAED

**問** 車道を狭めると大型貨物車の進入が少なくなる根拠は

**答** 速度が低下するなどの他に交差点も改良する



那須 光男議員

**問** 町道02-009号線（役場入口交差点から中央台入口交差点）道路計画について次の点を伺う。

① 町道の両側を拡幅することだが、用地買収の対象となる地権者数と買収に必要な金額。

② 工事期間は5年であるが、工事費の総額。

③ 車道を1メートル狭め5メートルから4メートルにすることによって大型貨物車の進入が少なくなるという根拠。

**まちづくり課長** ①② 地権者数は29名、用地費は3100万円、工事費は朝日橋を除き、約6000万円を見込んでいます。

③ 車道を狭くすることで速度低下や大型車両の交互通行がしにくくなる。また、役場入口交差点の改良計画がコンパクトな構造であることから大型貨物車の進入が減少すると見込んでいる。

**県道宗吾酒々井線について**

**問** 2月に開かれた住民説明会で27年度に用地交渉、28年度に工事着手と説明されたが、事故が多発している危険箇所だけでも28年度を待たずに早急に

工事するよう県に要請すべきである。また、大型貨物車を進入させないよう引き続き佐倉警察署に要請するよう町長に強く求める。

**町長** 県道横断箇所や事故多発箇所といった工事を優先すべき区間において、用地協力が得られしだい工事着手が可能となるよう県と連携しながら事業の促進に努めていく。

**酒々井小学校法面復旧工事について**

**問** 3月議会初日の全員協議会で説明がされたが、①復旧工事箇所は崩落した2箇所②間知ブロック工法を予定③2箇所④間知ブロック工法を予定④も地質調査の結果、安定している④工事はできるだけ早い時期に着手とのことだが、確認のため改めて伺う。

**子ども課長** 地質調査から崩れていない箇所のみは安定しているため崩落擁壁の強度は護岸工事等でも使われているものであり、強度はクリアされている。当初予算で工事費を計上しているが、早い時期に工事ができるように進めていきたい。

問

6億〜7億円増収の根拠は

答

南部地区新産業団地が順調に行けば相当の増収が見込める



齊藤 博議員

問 平成27年度予算のアウトレット関連増収は2億2千万円とされているが、町がこれまで説明してきた「7億円の増収」には到底達しない状況である。町は、現在でも「6億円から7億円になる」と考えているのか。今後に課税できる余地は少ないと思うが、町はいつ頃達成できると見込んでいるのか、その根拠も含めて伺う。

答 平成27年度予算のアウトレット関連増収は2億2千万円とされているが、町がこれまで説明してきた「7億円の増収」には到底達しない状況である。町は、現在でも「6億円から7億円になる」と考えているのか。今後に課税できる余地は少ないと思うが、町はいつ頃達成できると見込んでいるのか、その根拠も含めて伺う。

問 平成27年度から3年間の「介護福祉計画」において、介護受給者数、介護サービスの需要数について、どの位の伸びを見込んでいるのか伺う。

答 平成27年度から3年間の「介護福祉計画」において、介護受給者数、介護サービスの需要数について、どの位の伸びを見込んでいるのか伺う。

健康福祉課長 ① 介護給付費準備基金を活用した介護保険料の引き下げについては、本議会に条例案を提出したように、基金を3年間で約1億1900万円程度取り崩して前回と同程度に設定する。更なる取り崩しは次回の介護保険料を算出する中で検討していく。

② 要介護認定者数と介護給付費については、平成27年度は693人、10億7408万9千円、平成28年度は762人、12億1757万8千円、平成29年度は848人、16億4186万8千円と見込んでいる。また、特別養護老人ホームの需要が見込まれることから、開設に向けて千葉県による審査が進められている。



介護保険を担当する健康福祉課窓口

問

車道幅を狭めることにより渋滞にならないか

答

渋滞が発生することはない



酒瀬川 健一議員

問 酒々井小学校通学路に係わる交通安全対策事業の説明会が2月に開催され、通学路の歩道整備計画に対する県と町より説明があり、住民から多数の質問があったが、改めて町道の整備に関する質問に限定して3点程伺う。

① 5年間の整備は難しいのでは

② 車道幅を狭める事により、周辺道路の渋滞に繋がらないか

③ 今後の説明会はいつ頃になるのか

答 酒々井小学校通学路に係わる交通安全対策事業の説明会が2月に開催され、通学路の歩道整備計画に対する県と町より説明があり、住民から多数の質問があったが、改めて町道の整備に関する質問に限定して3点程伺う。



早期の歩道整備が望まれる町道02-009号線

まちづくり課長 ① 通学路の安全対策は最重要課題であり、協力していただく地権者のご理解を頂きながら早期に整備する必要がある。一定の事業効果が発現できる区間から歩道整備に着手していく。

② 車道幅員を狭くすることでスピードを減速させ、交通安全等を図ることとしており、これにより渋滞が新たに発生することはないと考えている。

③ 工事着手時に周知が必要と考えている。

安全な防災空間の確保について

問 中川の防災調節池を、平常時には憩いの場や広場として、災害時には緊急避難場所として多目的に活用を図れる整備の検討も必要と思われる。調節池周辺の環境や修景保全に配慮し、洪水ピーク時の水位を念頭に置いた調節池周辺の計画高の設定により、広場や避難場所の安全は確保できる事から、一日も早く中川調節池の設置に取り組みと共に、周辺を多目的広場や防災空間の確保を目的として整備をする事はどうか町の考えを伺う。

町長 中川調節池の事業化については、平成27年度からの事業着手に向け、関係機関と調整している。「中川流域水循環系再生計画策定委員会」の提言を踏まえ、町民の憩いの場としての活用等、多目的な機能の保有を検討することとしている。防災空間の確保については、中央台地区に比べ東酒々井地区は少ないことから、検討することが必要と考えている。

問

歴史文化を地域活性化の糧とする

答

地域活性化に寄与する施策を進めたい



川島 邦彦議員

問 文化財保護行政を推進するため基本方針（歴史文化基本構想）を策定すべきとの観点で伺う。

- ① 文化財保護に対する認識を伺う。また基本方針を定めることで整備が計画的に進められると考えるが如何か。
- ② 本佐倉城や江戸の町並み保存整備が行われており、予算では3万年前の遺跡調査を計上している。そこで、歴史文化の特徴を物語的にまとめることで町民が再認識し、誇りとしてふるさと意識に発展することが望ましい。
- ③ 交流人口が回遊する経済効果を含めた検討を要望する。

町長 ①②③ 文化財保護は、まちづくりのための重要な施策と認識しており、「(仮)酒々井町歴史文化基本構想」の作成費を予算計上しており、次年度に作業を進めていきたい。文化財は先人たちの遺産であり、守り伝え活用することにより地域の活性化に寄与できる施策を



酒々井宿の町並み

進めていきたい。

空き家対策について

問 空き家等対策の推進に関する特別措置法の成立を踏まえ町の対応を伺う。

- ① 空き家等の実態に対する問題認識及び具体的な戸数を把握しているか。
- ② 空き家等に関するデータベースの整備を行う考えはあるか、整備する場合の調査方法を伺う。例えば転出届の調査の協力を求める方法もある。
- ③ 防災、衛生、景観等のマイナス面を解消するだけの対応に留まらず、空き家等の利用で町の活力を維持するため、人口及び財政にプラスとなる視点で積極的に対応すべきである。

総務課長

①②③ 空き家は地域の生活環境を脅かす要因となっている。昨年10月に行政連絡員により実態調査を行っていたが、その調査結果を基に職員により現況調査を実施している。この調査結果を踏まえ、空き家所有者等にアンケート調査等を実施し、データの整備に努めていく。空き家の活用については、関係各課で連携して検討していく。

問

町の活性化を図るために道の駅を設置しては

答

商工会で検討しているが、実現には問題等もある



内海 和雄議員

問 県内各地に道の駅が設置されている。酒々井町においても特色ある道の駅を建設し、町の活性化を図るべきと思うが、町の考えを伺う。

副町長 町商工会において、地域経済活性化提案型事業で検討が進められている。しかし、道の駅の実現には、土地及び建物の確保、運営主体の問題をはじめ、農産物の安定供給ができるかなど、農商工の共通認識と協力体制が重要であることから、十分検討していく必要があると考えている。

下水道の整備促進について

問 町の下水道普及率は県内でも上位であるが、町の北部、南部地域は整備が遅れている。下水道の未整備地域の今後の整備計画を伺う。

町長 下水道事業認可区域内では、北部地域の柏木及び下岩橋地区はほぼ整備を完了し、南部地域では馬橋地区の整備を平成30年度の完了を目標に進めている。また、飯積地区の整備に向けて平成27年度に実施設計を行う予定となっている。なお、北部、南部地域の未認可区域については、効率的な整備

計画を検討していく。

県道富里酒々井線、成東酒々井線について

問 県道富里酒々井線、成東酒々井線の改良は早急に行うべきと思う。その中で古沢橋（県道富里酒々井線）の架け替えの計画、また馬橋地先の急カーブ（県道成東酒々井線）の解消はいっ行うのか伺う。

まちづくり課長 県に確認したところ、県道富里酒々井線墨地先の道路整備については、現在、用地取得を進めており、文化財調査実施後に一部の区間で工事を予定しており、古沢橋については、取り付く用地の取得状況を踏まえて今後検討すると伺っている。県道成東酒々井線馬橋地先の急カーブについては、現状では解消に伴う工事等は未定と伺っている。



県道富里酒々井線

問

JR酒々井駅周辺で自転車の盗難が多発、駐輪場の設置を

答

平成27年度に基本整備計画を策定する



佐藤 修二議員

問 安全・安心のまちづくり関連について次の点を伺う。

① 千葉県警の発表する犯罪の認知件数一人当たりのランク付けで酒々井町は常にワースト10内にランクされ、抜け出せないでいる。犯罪発生状況の大きな要因は自転車の盗難件数が大きく関係している。特にJR酒々井駅自転車置場周辺での盗難が多く発生していることから、JR酒々井駅に駐輪場の設置を真剣に検討すべきと思うが町の考えを伺う。

② 町の調査では町内に空き家が約220件ある。住宅地に空き家が発生すると樹木の繁茂や枯れ木化で火災発生の危険性や犯罪等が危惧される。町として行政の執行権や空き家の有効活用策を含め、空き家対策に前向きに取り組むべきと思うが町の考えを伺う。

③ 町内でひったくり等の都市型犯罪が連続して発生している。犯人逮捕等に防犯カメラの威力が発揮されているとの報道もある。町においても駅周辺や中心市街地に防犯カメラの設置を考えるべきと思うが町の考えを伺う。

町長

① 防犯性を高めるためには、常駐管理、あるいは新たな駐輪システムの導入が不可欠である。西口及び東口自転車駐車場の管理運営方法についての検討が必要であるため、平成27年度に基本整備計画を策定していく。



JR酒々井駅自転車駐車場(東口)

まちづくり課長

② 空き家の実態を把握するため、自治会の協力のもと空き家の把握調査を実施し、その結果をもとに現地で現況調査を実施している。今後も現況調査を続け、その結果を踏まえ、新たに施行された法律に基づき、空き家対策を検討していく。なお、有効活用については、空き家バンク等の取り組み等としての活用事例がある中で、引き続き、研究していく。

町長 ③ 防犯カメラは、犯罪の抑止に繋がるものと考えているが、設置については自転車等駐車場の基本整備計画と併せて検討していく。

問

保育料の引き下げを

答

全体的に引き下げ、低所得者層にも配慮した



地福 美枝子議員

問 ① 子育てしている世代の切実な要望は「様々な相談、要望ができる、仲間ができる等の子育ての拠点施設」がほしいというものである。児童館、あるいはファミリーサポートセンター等の設置についてどう考えているのか。

② 現在、高校生までの医療費を無料にしている自治体もあるが、町としてどのように考えているのか。

③ 子ども医療費は中学3年生まで助成対象となった。さらに窓口1回200円を無料にしてほしいが、どう考えているのか。また、これまで年間の窓口負担額の総額はいくらか。

④ これまでも、保育料の階層の細分化により、保険料の引き下げを要求してきたが、町は今後どのように考えているのか。

⑤ 年少扶養控除が廃止されているが、保育料算出にあたり、その影響を受けない計算になっているのか。

町長 ① 児童館については、勉強したり遊んだりできる施設としてプリミール酒々井等がよいと考えている。来年度「あいあいルーム」を「地域子

育て支援拠点施設」として充実を図るので、併せてファミリーサポートセンターもできないか検討する。

② 高校生まで引き上げるには、財源等の関係を精査する必要がある。なお、知事との懇談会で要望を行っている。

こども課長 ③ 近隣市町の動向や財政状況を勘案しながら検討していく。窓口負担額の総額は、平成26年度見込みで約570万円と見込んでいる。

町長 ④ 全体的に引き下げ、さらに所得の低い階層について配慮した。こども課長 ⑤ 年少扶養控除があるものとして算出している。

消防署への新道路について

問 中央台一丁目から消防署に行く直線道路の建設状況はどうなっているのか。

副町長 平成26年度に、測量、土質調査を実施済みで、現在、設計段階であり、関係機関との協議を進めているところである。



橋を架け、直進できるようになります

問

空き家対策は町の活性化にも役立つ

答

中心市街地活性化を図る方策を検討する



竹尾 忠雄議員

問 少子高齢化による人口減少に伴い、増加する空き家が問題視されている。

空き家等対策の推進に関する特別措置法が昨年11月に公布されたが、町としても所有者の同意と協力で空き家の利活用を考えてはどうか。若い方に住んで頂き、町の活性化にも役立つと考えられる。定住促進奨励金制度空き家バンクと貸出事業を実施している自治体もあるが、町としても検討してはどうか。

企画財政課長 空き家の現地調査の結果を踏まえた上で、地方創生の取り組みを積極的に推進していくために、子育て世帯や高齢者世帯を上手くマッチングさせ、交流人口を増加させることで、定住人口を増加させ、空き家対策だけでなく、それらを含めた中心市街地の活性化を図っていくための様々な方策を検討していく。

狭隘道路の解消について

問 ① 現在、伊篠地区の道路改良が実施されているが、完成予定時期と道路幅員、歩道幅員を伺う。

② 上岩橋上郷地区の福美造園下の約130メートル区間は車が片側通行と

なっており、中学生の通学路でもある。拡幅について町の考えを伺う。

③ 下岩橋青年館と消防団機庫の間の道路は拡幅のために昭和62年に用地買収済みであるが、見直しを伺う。

まちづくり課長 ① 平成29年度の完成を目標に工事を行っている。道路幅員は約10メートル、歩道幅員は3.5メートルの計画となっている。



伊篠地区で実施されている道路改良工事

② 当該道路は国道2路線を繋ぐ重要な道路である。但し、現況の道路は線形等に問題があるので、現道を改良することが難しい状況にあるので、この路線についてはバイパス等の整備が必要と考えている。

③ 地元から下岩橋青年館の移転または改築の計画があるので、それに併せて道路を拡幅してほしいとのことであったが、青年館の移転等が整わなかったため、現在に至っている。

問

酒々井小学校のプール改修計画は

答

民間施設の屋内プールを活用する



江澤 眞一議員

問 平成27年度の町事業について次の点を伺う。

① 町体育館建設について来年度の予定を伺う。さらに建設場所については総合公園で変更はないのか併せて伺う。

② 酒々井小学校のプール改修について来年度の計画を伺う。

教育次長 ① 平成23年11月の酒々井町体育館検討委員会の提言を基に、庁内委員会を立ち上げ、場所、規模、費用、建設場所等について、各担当課の意見を聴取し、検討しており、平成27年度も引き続き検討していく。



酒々井小学校プール

こども課長 ② プール検討委員会で建設費や維持管理費、また授業の安定した実施等検討した結果、民間施設の屋内プールを活用することが良いとの結論になったので、平成27年度から試

行的に行うために必要な予算を計上させてもらった。

子育て支援について

問 NPO「B・Net子どもセンター」について町の考えを伺う。また、現在の事務所は老朽化のため、新たな事務所が必要と思うが、町の見解を伺う。

町長 B・Net子どもセンターは、町の放課後子ども教室の運営など青少年健全育成に有用な団体であると認識している。今後も次代を担う子どもたちのために、公益的な活動を協働で実施していきたいと考えている。町内のNPO、公益団体から活動拠点の要望があることは承知しており、話し合いを継続しているが、これまでも希望する条件に合う場所が見つからないのが実情である。



順大生と町民をもって組織するB-Net子どもセンター

# その他の 質問

**平澤 昭敏 議員**

- ・ 地方創生の取り組みについて

**那須 光男 議員**

- ・ 訴えの提起について
- ・ 小型家電等の回収について

**齊藤 博 議員**

- ・ 住民投票制度について

**佐藤 修二 議員**

- ・ 中央公民館の耐震工事について

**地福 美枝子 議員**

- ・ 南部地区事業用地関連について

**竹尾 忠雄 議員**

- ・ 農業問題について
- ・ 役場庁舎の耐震補強とアスベスト撤去の見通しについて

**江澤 眞一 議員**

- ・ 酒々井町地域防災計画について
- ・ 地方創生交付金について

平成27年5月臨時会で承認・同意された議案は次のとおりです。

◇専決処分の承認を求めることについて

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、納税者に実害が及ばないようにするため、町税賦課徴収条例、町都市計画税条例及び町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分により制定したことから議会の承認を求めるものです。

◇監査委員の選任につき同意を求めることについて

門脇尚樹氏（現委員）と平澤昭敏氏（議員選出）の2名を監査委員として選任することに同意を求めるものです。



平澤 昭敏 氏



門脇 尚樹 氏

## 議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託常任委員会	本会議の議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認 ○
2	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認 ○
3	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認 ○
4	監査委員の選任について同意を求めることについて	なし	原案同意 ○
5	監査委員の選任について同意を求めることについて	なし	原案同意 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

## 6月定例会のお知らせ

次の定例会は6月上旬に開会する予定となっております。

会期の概要は、5月26日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。

なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますので、ご覧ください。

皆様の傍聴をお待ちしています。

詳しくは議会事務局まで。

☎ 496・1171

(内線251、252)



井戸っこ(しすいちゃん)

## 全国町村議会 議長会表彰

2月26日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、同会の表彰規定に基づき、高崎長雄議員が町議会議員として27年以上在職し、地方自治に功労があった者として、自治功労表彰を受けられました。



高崎長雄議員